

主要医療設備のご紹介

Canon マルチスライスCTスキャナ(80列) Aquilion Prime SP / i Edition



CT装置は、X線を利用し人体の臓器や組織を、輪切りの状態で画像にします。最近は大変耳慣れた検査になりましたが、その診断能力と検査の迅速性は非常に優れたものがあります。また、検査終了後のデータ処理によって、人体のいろいろな方向の断面像や立体像を、非常に精密に作成・観察することが出来るのも大きな利点です。

装置の高速化により精細な画像を短時間で得ることが出来るため、長時間の同じ姿勢や息止めが困難な患者さまなどでも安心して検査を受けていただけます。

島津製作所 デジタルX線テレビ装置 SONIALVISION G4



X線透視検査を行う装置です。バリウムその他の消化管造影剤を使った食道・胃・十二指腸・大腸などの消化管検査に加え、肝・胆・膵等の検査(PTCD・ERCP他)、血管撮影、骨折時の整復など、幅広い分野・目的で使用する装置です。

島津製作所 一般撮影装置 RadSpeedPro / UD-150L-40



一般にレントゲンと呼ばれている装置です。レントゲンは画像診断の基本となる検査であり、体の中の骨や臓器の状態をもっとも手軽に画像情報として得ることができます。

移動困難な方には、移動式X線撮影装置での病室撮影も行います。

Canon 乳房撮影装置 MGU-100D



乳房専用のレントゲン装置です。現在、女性の乳がんは年々増加してきており、早期発見がとても重要になってきています。

乳房撮影（マンモグラフィ）は、乳がんを診断する方法のひとつで、この撮影により、しこりとして触れない早期乳がんの唯一のサインである微細な石灰化をピックアップすることが出来、早期発見、早期治療につなげることが出来ます。

また、マンモグラフィーや超音波検査で気になる所見があった場合、MRI装置でさらに精密な検査を行うことが出来ます。

MRIは、電波と磁石の力を利用して人体の内部を画像化する、放射線被ばくのない検査方法です。全身の臓器をいろいろな方向の断面で観察することが可能なため、特に神経や血管、靭帯など微細な組織の描出に優れています。また、MRIでは造影剤を使わずに、頭・頸部血管をはじめ全身の血管の検査を行うことができます。

CT・MRI検査とも、必要に応じて『遠隔画像診断支援サービス』により外部の放射線科専門医とのダブル読影が出来る体制を準備しています。

PHILIPS 超伝導磁気共鳴診断装置 ACHIEVA 1.5T



全身を撮るための各種専用コイル

